平成13年４月３日
原子力安全対策課
（１３－　１）
＜10時資料配付＞

大飯発電所２号機の新燃料輸送について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所２号機（加圧水型軽水炉；定格出力117.5万ｋＷ）は、本日、新燃料集合体３２体を受け入れた。

１．輸送年月日
平成13年４月２日23時20分　原子燃料工業㈱熊取事業所　発
（大阪府泉南郡熊取町）
平成13年４月３日07時00分　大飯発電所　着

２．輸送数量等
新燃料集合体　　３２体
輸送容器　　１６個

３．輸送物の種類
Ａ型核分裂性輸送物

４．輸送方法
陸上輸送

＜参考＞

「輸送における安全性について」

１．輸送物の種類

Ａ型核分裂性輸送物

２．輸送容器の概要

型　式　；　ＮＦＩ－Ｖ型
形　状　；　円　筒　形
寸　法　；　長さ約５ｍ、外径約１ｍ
重　量　；　約３．７トン（輸送容器だけで約２．４トン）
材　質　；　ステンレス鋼製

３．輸送物の安全確認

本輸送物（Ａ型核分裂性輸送物）については、別添に示す国の安全基準を満たすことを、国の指定確認機関である(財)原子力安全技術センターにより確認されたものです。

４．輸送上の安全対策

輸送にあたっては、車両への積付け・標識等、輸送上の十分な安全対策を施してあります。

なお、万が一緊急の事態が生じた場合にも、最寄りの消防、警察および経済産業省等に連絡するとともに、適切な措置を取ることにしており、十分な安全対策が講じられることとなっております。

＜別添＞

『Ａ型核分裂性輸送物の安全基準』

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第５９条の２に基づき国が定めている『Ａ型核分裂性輸送物』に係わる技術上の基準の主なものは、以下のとおりである。

①線量当量率

表面で、　　２　　ミリシーベルト／時以下

表面から１ｍ離れた位置で、０．１ミリシーベルト／時以下

②表面汚染密度

α線を放出する放射性物質の場合、　０．４ベクレル／cm^2以下

α線を放出しない放射性物質の場合、４　　ベクレル／cm^2以下

また、Ａ型核分裂性輸送物の試験条件には、

①一般の試験条件

水の吹きつけ試験、自由落下試験、圧縮試験、貫通試験

②特別の試験条件

９ｍ落下試験、棒上の１ｍ落下試験、耐火試験、浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても容器の健全性を維持し、臨界の防止を確保するよう、法令の基準値を満足することになっている。